

2024年9月4日
株式会社SVPジャパン

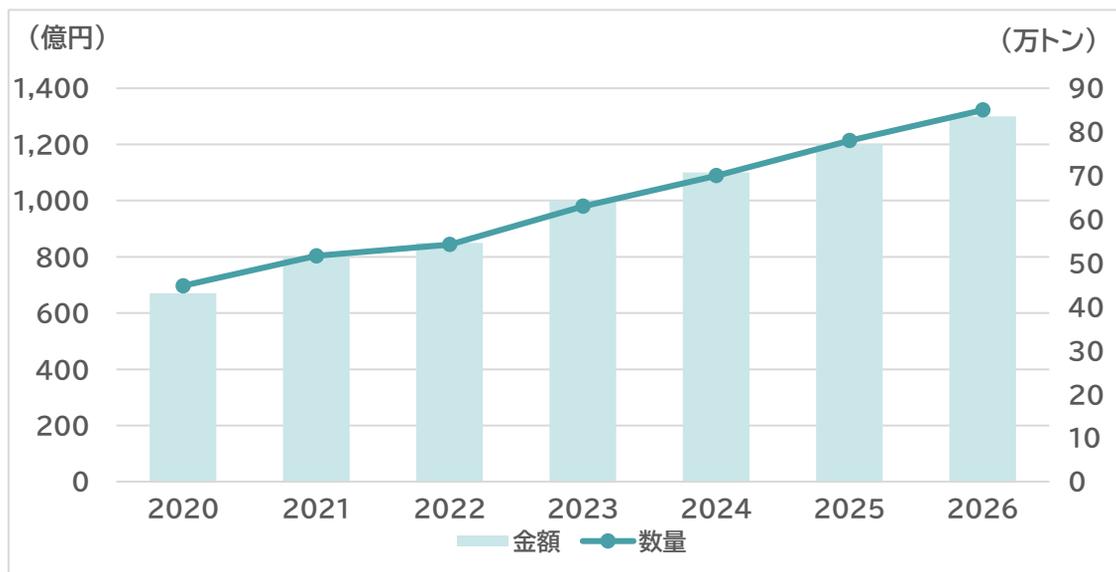
SVP注目市場分析 「マテリアルリサイクル・プラスチック」を公開

～持続可能な未来のために、循環型社会の実現へ～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「マテリアルリサイクル・プラスチック-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ マテリアルリサイクル・プラスチックの国内市場



プラスチックは、社会のあらゆる場所で使用される必須素材である一方、環境問題の原因ともなっており、その解決策としてリサイクルが国際的に進められている。日本では、特にペットボトルを中心に、使用済みプラスチックを洗浄・粉砕し、再生材料として加工する「マテリアルリサイクル・プラスチック」の技術が増加している。プラスチック循環利用協会によると、日本で発生する廃プラのうち、2022年は180万トン（全体の22%）がマテリアルリサイクルに利用された。

また、2023年の市場規模は約63万トン、1,000億円で、前年比15%増以上の大幅な成長になったと推定される。特にペットボトルの水平リサイクルが市場拡大の要因となっており、飲料メーカー各社がこの取り組みに力を入れており、今後も市場の拡大が予測される。

■ マテリアルリサイクル・プラスチックの市場概況

2022年施行のプラスチック資源循環法により、廃プラ回収が促進され、自治体や企業の取り組みが強化された。使用済みペットボトルを中心に、食品容器や家電、自動車部品などのリサイクルが拡大。プラスチックの種類別では、PETが市場の70%を占め、包装フィルムや繊維、成形品などの用途で幅広く再利用されている。

また、日本のマテリアルリサイクル・プラスチック業界は、自治体や事業者が回収した使用済みプラスチックをリサイクル事業者が再生材料に加工し、飲料メーカーや家電メーカーなどの再生材料ユーザーに供給するという構造になっている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

10月のテーマは「カーシェアリング」と「タクシー配車サービス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com